

## ■ 「一連の活動」と「単元」について

特別支援学校小学部・中学部学習指導要領解説では、生活単元学習について、「生活単元学習は、児童生徒が生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、**一連の活動を組織的に経験することによって**、自立的な生活に必要な事柄を実際的・総合的に学習するものである。」と述べています。

### ■ 「一連の活動を組織的に経験する」ということ

参考：「生活単元学習の手引」（昭和61年：文部省）

- **一連の活動は、児童・生徒の生活の流れやまとまりに基づいて計画・展開される。**
- 児童・生徒は、一連の活動（生活上の課題を成就するための活動に取り組む過程）を通じて、**結果として、各教科等の内容を習得する。**
- 一つ一つの単元における一連の活動の連続にも、単元間の活動の連続にも、必ずしも**各教科等の系統性があるわけではない。**

大切なものは**「生活の系統性」**（生活の流れやまとまり）です。

一連の活動を組織する教員の取組が**「単元づくり」**です。



- 単元とは、学習活動における**「一つのまとまり」**をもった単位のことです。
- **「ストーリー（物語）」**と考えることができます。

■ **単元とは、教育目標を最も効果的に達成できるように、教育内容を組織化することです。**

- ◆ 生活単元学習だけでなく、遊びの指導や作業学習においても単元を設定した指導は効果的です。例えば、「〇〇〇ランドで遊ぼう」（遊びの指導）や「〇〇〇で販売しよう」（作業学習）といった単元の設定が工夫できます。
- ◆ 「導入・展開・まとめ」、「計画、準備、実践、反省」、「起承転結」といったストーリー性のある単元の展開を工夫しましょう。

## 児童・生徒にとって、「一連の活動を組織的に経験する」とは

生活単元学習（小学部6年生） 「みそパーティーをしよう！」

★ みんなで作った美味しい味噌。お客様を招待して「みそパーティー」を開き、美味しい味噌汁を食べてもらおう！



| 単元の展開          | 主な活動内容              |
|----------------|---------------------|
| おいしいお味噌できたかな   | 味噌作りの振り返り、味噌の試食     |
| お味噌を使って料理しよう！  | 味噌汁の具材の相談、味噌汁の歌の練習  |
| ↓              | 具材の買い物→調理練習(1)      |
|                | 具材の買い物→調理練習(2)      |
|                | 具材の買い物→調理練習(3)      |
|                | 調理練習(4)             |
| みそパーティーの準備をしよう | おもてなし体験             |
| ↓              | パーティーの内容の相談         |
|                | 進行表づくり、司会のセリフ決め     |
|                | 会場の飾り作り             |
|                | 進行の練習               |
|                | みそパーティーの予行（調理練習(5)） |
|                | ランチョンマットづくり         |
|                | 招待状づくり              |
| みそパーティーをしよう！   | 前日準備（会場設営等）         |
|                | 調理                  |
|                | 「みそパーティー」           |



- ◆ 前単元の振り返り → お味噌汁の調理練習（繰り返し） → みそパーティーの準備 → みそパーティー（当日）と、課題の成就に向けて活動が展開されています。
- ◆ 「みそパーティー」に向けて、具材の買い物や調理練習はもとより、パーティー会場の飾り作りやランチョンマット作り、招待状作り、おもてなしの練習など、様々な活動が用意されています。

まとまりのあるストーリーが展開されています。

「美味しい味噌汁を作って、お客様に喜んでほしい」という思いが、この単元のモチベーションです。児童は、そのために調理練習を繰り返します。

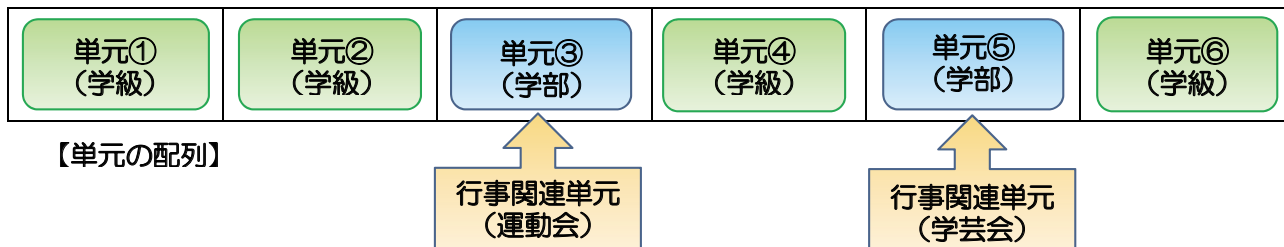
スキルの獲得を目的に調理練習を繰り返す学習とは大きく異なります。



- 「調理」や「歩行」など、単一の内容しか扱わない単元や、「運動会」「学習発表会」など学校行事だけで設定する単元は、「一連の活動を組織的に体験する」という点に照らし、生活単元学習としては適切ではありません。

# ■ 「合わせた指導」と教育課程

## 年間指導計画について



- ◆ 生活単元学習は、児童・生徒の生活上の課題を、児童・生徒の興味・関心や必要性に基づいて展開しながら解決を図っていく指導の形態ですから、一つ一つの単元をどのように配列するかについては、十分な検討が必要です。
- ◆ その際、学校行事や季節的な行事に関連した単元を最初に配置し、他は学級集団の実態等を考慮しながら配置するようにします。
- ◆ また、学級で行う単元、学年で行う単元、学部で行う単元などを分類し、地域性なども考慮した「創造的な単元」を開発するように努める必要があります。

上記は、「遊びの指導」や「作業学習」の年間指導計画を検討する際にも同様です。

- 「遊びの指導」では、自由遊びと課題遊びの年間の指導バランスや配列、集団構成等について、児童の実態や課題（付きたい力）を踏まえた十分な検討が必要です。
- 「作業学習」では、バザーや学習発表会、学校外での販売機会を計画的に設定し、生徒が目標を持って学習に取り組むことができる単元の開発と効果的な配列が重要です。

## 単元指導計画について

- ◆ 単元指導計画は、**必ず作成**する必要があります。
- ◆ 単元指導計画には、**以下のような内容を記載**する必要があります。
  - 単元名
  - 実施期間、指導時数（配當時数）
  - 単元設定の理由（単元観）
  - 単元のねらい、期待する児童・生徒の姿、付きたい力
  - 指導計画（進行計画）と主な学習活動
  - 実施上の配慮事項
  - その他



## ■ 「活動の集団化」と「支援の個別化」が重要です。

「合わせた指導」においては、単元のテーマや目標の実現に向けて、児童・生徒一人一人がそれぞれの役割や活動に取り組み、教員も含めて全員が満足感や達成感を味わうことができる単元にしていくことが大切です。

そのためには、個々の児童・生徒に合わせて、活動や手だての個別化を図る必要があります。

## 週時程への位置付け

★ 児童・生徒が、同じテーマに沿って学校生活を送ることができるよう、時間割や実施形態を見直す必要があります。

※ 例えば、生活単元学習では、テーマや学習集団が異なる学習が、同じ週内で実施されている状態は適切ではありません。改善が必要です。

|   | 【改善前】 |    |    |    |   | 【改善後】 |          |    |    |   |
|---|-------|----|----|----|---|-------|----------|----|----|---|
|   | 月     | 火  | 水  | 木  | 金 | 月     | 火        | 水  | 木  | 金 |
| 1 |       |    |    |    |   |       |          |    |    |   |
| 2 |       |    |    |    |   |       | 同じテーマで → |    |    |   |
| 3 |       | 学年 |    |    |   |       | 学年       |    |    |   |
| 4 |       | 学年 | 学級 | 学年 |   |       | 学年       | 学年 | 学年 |   |
| 5 |       | 学級 |    | 学級 |   |       | 学年       |    | 学年 |   |

学年と学級の単元テーマが異なる「二つの生活単元学習」が同時進行している。



◆ 改善により、同じ単元テーマの下で学習を展開できるようになり、繰り返し活動する時間や機会を多く設定できるようになります。

|   | 月 | 火         | 水 | 木 | 金 |
|---|---|-----------|---|---|---|
| 1 |   |           |   |   |   |
| 2 |   | 歩         |   | 調 |   |
| 3 |   |           |   |   |   |
| 4 |   | 行         |   | 理 |   |
| 5 |   | 見直しが必要です。 |   |   |   |

■ 左の時間割のように、「火曜日は校外歩行」、「木曜日は調理」のように、曜日によって活動内容を固定化した生活単元学習も適切ではありません。  
同じテーマに沿って単元を展開できるように工夫する必要があります。



## 教科別の指導との関係

|   | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  |
|---|----|----|----|----|----|
| 1 |    |    |    |    |    |
| 2 |    |    |    |    |    |
| 3 | 図工 | 生単 |    |    | 音楽 |
| 4 | 図工 | 生単 | 生単 | 生単 |    |
| 5 |    | 生単 |    | 生単 |    |

◆ 例えば、「みそパーティーをしよう」といった単元の場合、お店の飾りや招待状等を作る活動を「図画工作」の時間に行ったり、歌の練習を「音楽」の時間に行ったりするなど、生活単元学習の内容と教科別の指導の内容を関連付けて、**テーマに沿って学校生活が発展するよう工夫すること**が大切です。

■ 教員に求められることは、「教材化する力」＝「単元化する力」を高めることです。

